

おうみがくし ちいきにまなぶ  
**近江楽士(地域学)副専攻** | コミュニティ・ネットワーク(CN)  
 ソーシャル・アントレプレナー(SE)

**近江楽士(地域学)副専攻**とは

近江楽士(地域学)副専攻は、滋賀県立大学の学生が、地域を教室にして学ぶプログラムです。まちや農村、そこに暮らす人々との関わりを通して、地域が抱える課題や魅力を知り、自分で考え、行動する力を身につけます。自分の専門分野の学びに、地域での実体験を重ねることで、社会とつながる実践的な学びを深めることができます。全学部・全学年生横断プログラムですので、どの学科に所属していても受講することができます。また、所定の単位を修得することで、大学が認定した称号(コミュニティ・ネットワーク/ソーシャル・アントレプレナー)を獲得することができ、就職等でアピールすることができます。

**変革力**を鍛える

近江楽士(地域学)副専攻では、学んだ知識や経験を「他者に伝え物事を動かす力」に変えることを大切にしています。これを「変革力」と呼び、①アイデアを考える構想力、②人と伝え合うコミュニケーション力、③実際に動く実践力の3つから成ります。地域での体験を通して、考え、試し、振り返る学びを重ね学問を社会で生かす力を育てます。



**学びの流れ**

2つのコース  
**コミュニティ・ネットワーク(CN)コース**  
**ソーシャル・アントレプレナー(SE)コース**があり、それぞれのコースに設定された科目の単位をすべて修得することで、称号を獲得することができます。

**STEP 01**  
**基礎**  
 (地域基礎科目)

**STEP 02**  
**展開**  
 (必修科目)

**STEP 03**  
**応用**  
 (選択必修科目)

**STEP 04**  
**修了証  
 称号授与**

**コミュニティ・ネットワーク**  
 地域を客観的に分析し、人材や資源を結び合わせて地域再生に向けた取組をデザインする人材。行政やNPO、市民活動等の分野でリーダーシップを発揮する人材。

- 地域診断法

**ソーシャル・アントレプレナー**  
 コミュニティ・ビジネスの発想と手法によって地域課題を解決に導く起業家的人材。起業家精神をもって地元企業等でリーダーシップを発揮する人材。

- ソーシャル・ビジネス概論

- システム思考法
- 問題解決デザイン論

- MBA入門
- ビジネス・プランニング

- 地域デザインA~Dのいずれか

- 地域デザインA~Dのいずれか

副専攻修了証・称号  
 “近江楽士”授与  
 「コミュニティ・ネットワーク」

副専攻修了証・称号  
 “近江楽士”授与  
 「ソーシャル・アントレプレナー」

**Class Introduction**

**>> ソーシャル・ビジネス概論**

本講義は、近江楽士(ソーシャル・アントレプレナー)の導入講義として位置付けられています。まず、自らとは何者で、何が本当に好きなのかを問い直すことから始めます。その後、ソーシャルビジネスとは何かを学び、学生時代から活動し全国で活躍する社会起業家の先輩方の話を聞く中で、自分と社会課題の接点を探ります。このカリキュラムを経る中で、無理せず、誰かのために何かをする喜びを感じられます。この経験は、起業だけではなく、将来のキャリアを考える上でのヒントになっていきます。



**Student's Report**

この講義を一言で表すなら「初めの一歩の踏み出し方についての講義」です。「起業」というものを考える時、まずどこに目を向けて、何から始めるのか、そもそも起業するとはどういうことなのかについて、既に前人未踏の最前線を行っている個性豊かな起業家さんの生の声を直接聴いて、自分の生の声を直接ぶつけられる講義です。



**Teacher's Voice**

専攻が専門を深める学びであるなら、副専攻は視野を広げる学びです。正解を覚えるのではなく、自ら問い、試す。私自身、各地域で実践研究を重ねる中で、試すからこそ自分とは異なるリアルに出会い、思考が広がることを感じ続けています。大学生の間にその経験を重ね、大変な時代を生き抜く自分の軸をつくっていきましょう。



**>> 問題解決デザイン論**

本授業では、「デザイン思考」という考え方をを使って、身近な困りごとや社会の課題を解決する力を身につけます。グループワークやワークショップを通して、課題の見つけ方、アイデアの出し方、試作品をつくって確かめる流れを体験的に学びます。話し合いながら考え、行動することで、自分の考えを形にする力や、仲間と協力する力を伸ばします。これからの社会での活動の基礎となる力を鍛えます。



**Student's Report**

授業を通じ、デザイン思考の枠組みやワークショップ運営、要約力を習得しました。デザイン思考を「脳内での秩序の抽出」「イノベーションの循環」「プロトタイプの実体化」「顧客視点での深化」の4領域に整理して学びました。混沌から要素を抽出し、多角的な視点で循環させる重要性を深く理解できました。



**Teacher's Voice**

「地域診断法」や「コミュニティ・ビジネス」をキーワードに、地域での実践を通して、まちづくりや地域活性化の方法を研究しています。授業ではグループワークを重ね、自ら考え、他者と共感し、本質を見抜く力を育みます。地域にも出てもらって、自分の力を発揮できる人を育てたいと考えています。



**>> 地域デザインA**

地域本来の力や資源を活かした地域づくりのための考え方と手法を実践的に学びます。具体的な先進事例を学んだうえで、学生、院生、行政職員等からなるチームにわかれて中山間地域や離島、商店街といったフィールドに繰り出し、まちあるきやワークショップ、住民との意見交換を踏まえて地域課題の解決策を提案します。このプロセスを通して、フィールドワークの技法、ファシリテーションの手法など地域づくりにかかわるノウハウを修得します。



**Student's Report**

地域デザインは単にアイデアを考えるだけでなく、現実の課題や人々の声を踏まえて実践することが大切だと学びました。特に、現地の方々の意見交換や対話は、自分一人では気づけなかった視点や考え方を得られる貴重な機会となりました。地域資源をどう活かすかを具体的にイメージでき、主体的に行動することの重要性を実感できました。



**Teacher's Voice**

一見「なんでもない」風景。地元の人さえ「なんにもない」という地域。けれどもそこには「なんにもない」と言いながら、「なんにもない」を百年千年続けてきた仕組、すなわち「無事ネスモデル」がある。地域に分け入り、「無事ネスモデル」を掘り起こし、風土に根ざしたゆるがぬ暮らしを立て直す。そんな研究をしています。

